

第 143 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(2019 年度 第 10 回)

- ・日 時 令和 2 年 2 月 2 7 日 (木) 15:00～17:10
- ・場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室
松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、山下学長代行、井上厚史副学長、石橋副学長、岸本副学長、林総合政策学部長、梶谷看護栄養学部長、岩田人間文化学部長、福原北東アジア開発研究科長、吾郷教務部長、松浦教務部長、濱田学生生活部長、名和田学生生活部長、小柳学生生活部長、狩野別科長、李北東アジア地域研究センター長、藤原しまね地域研究センター長、落部事務局長
- ・欠席者 犬塚教務部長

○第 142 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 142 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

《審議事項》

(1) 奨学金・減免制度等の見直しについて (浜田キャンパス)

清原学長及び事務局から、奨学金・減免制度等の見直しについて、資料 (略) により説明があり、次回の審議事項とすることとされた。主な議論等は以下のとおり。

濱田学生生活部長より、成績優秀者奨学金は勉学を頑張った見返りとして残してほしい旨の発言があり、また、成績優秀者表彰制度の内容について確認があり、清原学長から、成績上位層の 20 名程度はほとんど変化がないため、上位層に投資をするというより、活用できる財源で成績下位層のフォローアップに力を入れたいと考えている旨の回答があった。

福原北東アジア開発研究科長から、現在の博士後期課程修業年限超過者減免は、合理的な制度であり、現行のまま残してほしいことと、成績優秀者に対する支援は多様な形があったほうがよいと考え、案 1 を支持するとの発言があった。

井上厚史副学長より、成績下位者を救うための具体的なアイデアについて確認があり、清原学長から、成績下位者が何故その位置になってしまっているのか、現在調査をしているところであり、例えばピアサポートが十分でないという結果であれば、手厚くしようと考えているが、今はまだそれ以上の具体的なアイデアは持ち合わせていないと回答があった。

藤原しまね地域研究センター長より、勉学意欲はあるがアルバイトをしないと生活できないので、勉学に時間を割けず、結果として成績下位者になってしまっている学生がいるが、そういう学生に支援をするという意味か確認があり、清原学長から、下位の学生がどういう事情でこの位置になっているか、事実確認がまず必要であると考えており、エビデンスを集め、状況を把握することが必要である旨の回答があった。

李北東アジア地域研究センター長から、エビデンスとして、経済的な事情と成績が直接リンクしているのかを示してもらえれば判断の材料になることと、下位の学生に対する支援は、経済的な部分と精神的な部分の 2 つになると考えているとの発

言があった。

清原学長から、所得と成績の相関性はデータがないため把握できていないが、今後どのようにデータとして得るかを議論していると発言があった。

山下学長代行から、出雲キャンパスでも成績優秀者はずっと成績優秀者のままなので、この層へ支援をすることの意味を考える必要があることと、経済支援をしつかりしながら、エビデンスを固めていくことが重要であるとの発言があった。

岸本副学長から、成績優秀者にも支援があることは他大学に対するアドバンテージになるので、学生募集の有効な手立てのひとつと考えているとの発言があった。

(2) 各学部・短期大学部・別科履修規程の「試験における不正行為」について (浜田キャンパス)

清原学長及び事務局から、各学部・短期大学部・別科履修規程の「試験における不正行為」について、資料(略)により説明があり、次回の審議事項とすることとされた。主な議論等は以下のとおり。

岸本副学長から、案1を支持することと、別科と短大部もまとめて審議してもらいたいとの発言があった。

石橋副学長から、不正にも色々なレベルがあるので、柔軟な判断ができるよう、案2を支持すると発言があった。

岩田人間文化学部長から、案1を支持すると発言があった。

事務局から、大学院にも同様の履修規程があるため、今回の件に大学院も追加する旨の発言があった。

清原学長から、教授会という文言が出てくる箇所があるが、研究科委員会等といった教授会に相当する組織も含める意味で記載しているとの発言があった。

(3) 大学院教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成(案)について(出雲キャンパス)

石橋副学長から、大学院教員人事に係る教育研究評議会人事委員会の構成(案)について、報告事項1と合わせて資料(略)により説明があり、承認された。

(4) 非常勤講師の任用について(浜田キャンパス)

林総合政策学部長から、非常勤講師の任用について、資料(略)により説明があり、承認された。

(5) 非常勤講師の任用について(浜田キャンパス)

福原北東アジア開発研究科長から、非常勤講師の任用について、資料(略)により説明があり、承認された。

(6) 非常勤講師の任用について(出雲キャンパス)

梶谷看護栄養学部長、狩野別科長及び石橋副学長から、非常勤講師の任用について、資料(略)により説明があり、承認された。

清原学長より、これまで採用したことがない新規の講師については、履歴書等を添付するよう依頼があった。

(7) 島根県立大学大学院学則の改正について（出雲キャンパス）

石橋副学長から、島根県立大学大学院学則の改正について、資料（略）により説明があり、承認された。

(8) 2021 年度交流県留学生候補者能力試験の実施について（浜田キャンパス）

岩本アドミッションセンター長から、2021 年度交流県留学生候補者能力試験の実施について口頭により、吉林省での筆記試験は4月2日に実施すること、面接試験はインターネットを利用して実施すること、及び寧夏回族自治区での試験は延期することの判断について、アドミッションセンターに一任してほしい旨の説明があり、承認された。

(9) 台北医学大学との交流に関する協定の締結について（出雲キャンパス）

石橋副学長から、台北医学大学との交流に関する協定の締結について、資料（略）により説明があり、承認された。

(10) 名誉教授称号授与候補者について（浜田キャンパス、出雲キャンパス、学長）

清原学長、井上厚史副学長及び石橋副学長から、名誉教授称号授与候補者について、資料（略）により説明があり、承認された。

(11) 公立大学法人島根県立大学教員個人評価調査票改正案について（出雲キャンパス）

山下学長代行から、公立大学法人島根県立大学教員個人評価調査票改正案について、資料（略）により説明があり、承認された。

福原北東アジア開発研究科長より、大学側で把握できる項目については、今後の見直しの中で削減していつてもらいたいとの発言があり、清原学長から、見直しは今後も実施していき、教員の負担軽減をしていきたい旨の発言があった。

続いて清原学長から、教員個人評価調査票の結果を基に期末勤勉手当に加算しており、現在はその配分をキャンパスごとの現員数で割り振っているが、提出率の低いキャンパスが得をすることになるので、提出者の割合に応じた配分という形に見直したいと考えていることと、研究補助金の配分決定をする際に、教員個人評価調査票を提出しているかどうかを考慮することについて、次回の審議事項としたい旨の発言があった。

(12) その他

なし

《報告事項》

(1) 大学院担当教員（看護学研究科）の選考開始の発議について（出雲キャンパス）

※審議事項3で説明済みのため、省略

(2) 大学院担当教員の決定について（浜田キャンパス）

福原北東アジア開発研究科長より、大学院担当教員の決定について、資料（略）

により、報告があった。

(3) 専任教員の採用予定者について（出雲キャンパス）

石橋副学長から、専任教員の採用予定者について、資料（略）により報告があった。

(4) 専任教員の選考結果について（出雲キャンパス）

石橋副学長から、専任教員の選考結果について、資料（略）により報告があった。

(5) 嘱託助手の選考開始について（浜田キャンパス）

事務局から、嘱託助手の選考開始について、資料（略）により報告があった。

(6) 一般入試確定志願状況について（浜田キャンパス）

岩本アドミッションセンター長から、一般入試確定志願状況について、資料（略）により報告があった。

(7) 旧NEAR財団寄付金事業の見直しにかかる理事長方針について（浜田キャンパス）

井上厚史副学長から、旧NEAR財団寄付金事業の見直しにかかる理事長方針について、資料（略）により報告があった。

(8) 令和2年度の学長裁量経費の概要について（浜田キャンパス）

事務局から、令和2年度の学長裁量経費の概要について、資料（略）により報告があった。

(9) 新学部設置に伴う特任教授の選考について（浜田キャンパス）

事務局から口頭により、新学部設置に伴う特任教授の選考について、2月17日に開催した新学部学科設置等準備委員会において、地域政策学部にも所属予定である2名の教授を、学部完成までの期間を任期とした特任教授に選考したことについて報告があった。

(10) その他

清原学長から口頭により、新型コロナウイルス感染拡大防止を鑑み、各キャンパスの学生団体が主宰する卒業記念パーティーについて、自粛してもらうよう大学として要請したことと、3月2日に開催予定の新型コロナウイルス対策本部会議で、卒業式及び入学式の開催可否等を決定したいと考えている旨の報告があった。

次回開催予定：令和2年3月25日（水）